

特集



夜の博物館を借り切って研究者の交流パーティーが開かれます。恐竜の前でビールを飲みながら話はずみずみ

モンゴルでの研究成果を発表するために、アメリカのニューメキシコ州で開かれた「古脊椎動物学会」に行ってきました。恐竜や鳥や哺乳類の化石の研究者が世界から集合。さて、何人でしょう。なんと1400人。すごい熱気でした。

参加者がそれぞれの研究を英語で発表します。その数約800本。最新の成果なので、わくわくします。

岡山理科大学からは私と千葉謙太郎先生の2人が発表しました。千葉先生の発表は体育館のような大きな会場に700席ぐ

最新の研究成果に興奮



ポスター発表会場。ポスターは日本の学会の2倍ぐらいの大きさで畳1枚より広いです。私は巨大足跡を実物大の図で発表しました

らしいの椅子を並べたところです。ライドを使いながらの発表です。時間は15分間。「ちょっと早口でしゃべりすぎたかなあ…」

私の方は、研究成果を畳1枚ぐらいのポスターにして発表しました。会場には巨大なついたてが立ち並び、160枚ぐらいのポスターが貼りっぱなしにされて、好きな時に見て回れます。自分のポスターの前で説明する時間帯があるのですが、みんなビールを飲みながら議論するんですよ。

さて、この学会、来年はオーストラリアで行われます。実はとても有名な恐竜化石の産地の近くで、そこへのツアーもきつと組まれることでしょう。「来年はこれを発表して皆を驚かせてやろう」「あの有名な化石産地をこの目で観察してやろう」などと思いつきながら、アメリカから帰国の途につきました。

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣忍



恐竜学者が集まる「古脊椎動物学会」

まめちしき 豆知 識

「古脊椎動物学会」は背骨のある動物(魚類・両生類・爬虫類・哺乳類・鳥類)の化石の研究者が参加しています。今年には日本人も20人以上参加しました。若手の研究者に与えられるローマー賞は今年には日本人が受賞しましたよ。日本では「日本古生物学会」が化石研究者の集まりです。